

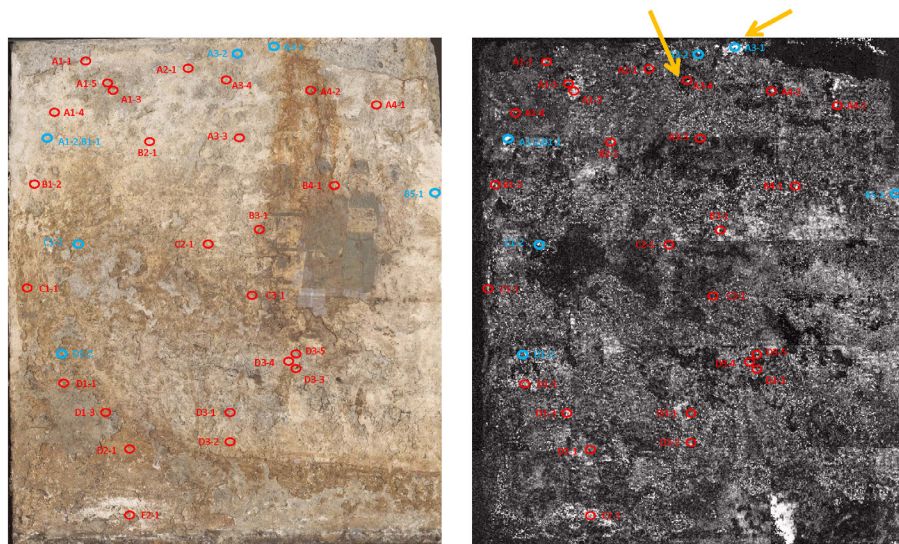
文化庁が行う高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関する技術的協力(ホ)

目的 キトラ古墳壁画の彩色及び漆喰の状態調査並びに展示環境の制御とモニタリング方法の調査研究を行う。また、文化庁が行う高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関して技術的に協力する。

成果 高松塚古墳壁画に関しては、平成29年度も修理施設内での害虫等生息調査、浮遊菌・付着菌量調査、温湿度推移のモニタリングを継続し、安全な保存空間の維持に努めた。また、空調制御プロセスの解析を、構築した計測システムによって行った。

修復作業に関連する調査研究としては、壁画表面のクリーニングを行うために粗鬆化した漆喰部分への強化方法の検討を行った。また、解体後10年目であることを念頭に、今後の保存方針についての協議を重ねた。

キトラ古墳壁画に関しては、「四神の館」における保管および公開の環境について調査協力し、年間4回の集中メンテナンスに立会い、状況の改善を検討した。さらに、今までの修理記録についてデータベースの作成を行った。また、泥に覆われた箇所該当すると推定される顔料の可視化について検討を行った。



テラヘルツ画像を利用した漆喰の空隙状況調査
(矢印部分に関して修理技術者による調査結果との比較検討を行った)

論文・佐藤嘉則ほか「高松塚・キトラ古墳壁画上の微生物汚れの除去—酵素の選抜とその諸性質—」『保存科学』57 pp.11-22 18.3

・喜友名朝彦、佐藤嘉則、木川りか、佐野千絵ほか「高松塚・キトラ両古墳の*Penicillium*属分離株の分子系統学的帰属および*Penicillium* sp. 2の分類学的記載と生物劣化問題へのかかわり」『保存科学』57 pp.49-66 18.3

・西島美由紀、佐藤嘉則、木川りか、佐野千絵ほか「分子生物学的手法による高松塚・キトラ両古墳の微生物群集構造解析」『保存科学』57 pp.23-48 18.3

・早川典子「キトラ古墳壁画の保存修復報告」『月刊文化財』No.649 pp.7-10 17.10

発表・早川典子ほか「キトラ古墳壁画の修復」文化財保存修復学会第39会大会 金沢歌劇座 17.7.2

研究組織 ○佐野千絵、早川泰弘、吉田直人、朽津信明、森井順之、佐藤嘉則、犬塚将英、早川典子、倉島玲央、小峰幸夫、嶋原由美、藤井佑果、前川佳文(以上、文化遺産国際協力センター)、川野邊渉(特任研究員)、大場詩野子(客員研究員)、木川りか(九州国立博物館)